

富山県中新川郡上市町議会

1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

政策づくりについては、定例会以外の月に毎月開催する定例全員協議会を平成24年から実施し、近年多発する災害発生の現状を踏まえた町内の防災対策に関する検証や、自治体クラウド導入に係る経済性や情報セキュリティの問題を研修するとともに、消防、介護、ごみ等を広域的に処理する一部事務組合に関して、予算及び業務の状況を報告するなど町の行政課題を含めた様々な事項について、議員間での勉強会や協議を行い、個々の議員の資質向上と議会が一体となって審議を図るべき政策づくりの協議の場として積極的に取り組んでいる。併せて、議会と商工会との懇談会を実施し、町内商工業の実情把握及び行政や議会に対する意見を受けるだけでなく、議員からの提案も行い、地域経済の活性化に向け取り組むとともに、広域的な道路交通網に関する町施策の実現に向けた取組みの一環として、近隣議会との勉強会を開催し、市町間の連携を図り、政策の実現に取り組んでいる。

また、本年度から、適切な活用方法を十分に検討した上で政務活動費の交付を始め、議員の調査研究活動の充実を図ることで町民の利益となる様、議会全体の資質向上に取り組んでいる。

監視機能の向上については、上記した定例全員協議会、近隣議会との勉強会及び政務活動費の交付などの取組みの効果もあり、近年では、議員定数の7割を超える議員の一般質問実施により、町の行政運営を質するとともに町への提言も行うことで、行政に対する監視機能の役割を發揮している。

併せて、本年度から発行する議会広報の編集においては、発刊にあたりその必要性や重要性を議員全体で協議した上で、編集に係る協議や研修を重ね、準備を進めたことにより、過去に行われた一般質問の結果を追跡するレポートや、議会、議員及び行政に対する町民の率直な声を聞くコーナーなどの特集記事からレイアウトなどの紙面づくりまで、議員が一から企画立案、構成作業を行う体制となったことで、政策の進捗状況など町の取組みを検証するとともに、議会及び議員自らの活動を顧み、議会による町への監視機能の向上が図られている。

2 住民に開かれた議会

平成15年6月定例会から、近隣市町により共同で設置した町内のCATV網の整備に伴い、議会本会議の審議状況を生中継や録画放送により放送し、住民が容易に議会を傍聴できる環境を整備した。

この議会中継によって、日中の仕事などでこれまで傍聴が困難であった方にも本会議の審議が視聴可能になったことで、町民に広く議会活動を見る機会を提供できた。

インターネット上では、平成16年3月定例会分から本会議に係る会議録の公開を開始し、インターネットを閲覧できる環境にある方は、何時でも容易に会議録を閲覧できるとともに、会議録の中から言葉、発言者、会議名及び期間からの検索機能を付すことにより、住民が必要な情報を抽出して見ることが可能となった。また、町ホームページ内の議会のページにおいて、議会構成及び議会日程や議会広報の電子版の掲載などによる情報提供も実施している。

議会広報は、平成26年度からの発刊にあたり、その必要性や重要性を議員全体で協議した上で、特別委員会において編集体制の準備や研修を重ね、議会の活動が広く町民に伝わるよう検討を行った。なお、発刊は、定例会ごとに年4回行い、町内全戸に配布することとなった。

紙面づくりにおいては、定例会の審議結果、一般質問の概要、委員会の審議経過以外に、過去に行われた一般質問の結果を追跡するレポート、議員個人が直接取り組んでいる地域活動の紹介などの特集記事を積極的に取り入れ、議会が今何を考え、何に取り組んでいるか町民に見ていただけるよう工夫した。なお、紙面のレイアウトについても、見易く分かり易くを基本に、見出しを配置するなど議会広報特別委員会が中心となって構成作業に取り組んでいる。

また、議会から町民への一方的な情報提供だけでなく、議員が直接町民にインタビューを行い議会、議員及び行政に対する町民の率直な声を聞くコーナーを設け、町民の声と議員活動がかい離しないよう心掛けている。